

第2学年（前期）国語科評価・評定計画

学習単元・内容	学習のポイント
1. 広がる学びへ 「明日」（詩）【読む、言語】 「アイスプラネット」【読む】 「枕草子」【読む、書く、言語】 「説明の仕方をくふうしよう」【書く、話す】 「言葉1」【言語】 「書写」（硬筆） 「要点を整理して聞き取ろう」【聞く】 2. 視点を定めて 「やさしい日本語」【読む、言語】 「発表資料を工夫しよう」【書く言語】 「プレゼンテーション」【話す聞く】 「漢字1」【言語】 3. 読書と情報 「新しい短歌のために」【読む、書く、言語】 「言葉を選ぼう」【書く、言語】 「文法への扉1」【言語】	・「明日」に表現された詩の世界をイメージし、朗読している。 ・表現の特徴や、作者のものの見方、感じ方を掴んでいる。 ・登場人物の言動の意味を考え、作品の内容を理解している。 ・作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持てる。 ・日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取り、自分なりの感想を持てる。 ・伝えたいことを明確にし、我流「枕草子」を創作している。 ・目的や相手に応じて、伝える事柄の特徴や共通点・相違点を明確にした内容で書けている。 ・題材に適した説明ができる。 ・類義語、対義語、多義語の特徴を理解し、正しく活用できる。 ・行書の特徴を理解し、文字の配列や大きさに気をつけて書くことができる。 ・情報を的確に聞きとるための工夫をしている。 ・要点を押さえた聞き取りメモを作成できる。 ・文章全体と部分の関係、具体的事例の役割を掴み、内容を捉えている。 ・構成の展開の工夫や、作者の考えについて自分の考えを持てる ・わかりやすい発表や説明のために、図表やグラフなどを活用して効果的な資料作成ができる。 ・資料等を工夫し、言葉と効果的に組み合わせた説明ができる。 ・熟語の構成について理解している。 ・短歌に示された語句の効果的な使い方を理解し、情景を想像しながら朗読できる。 ・心情が伝わるように、描写を工夫した短歌が創作できる。 ・描写を工夫した物語を創作できる。 ・活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解している。

評価・評定について					
評価事項	意欲・関心	聞く・話す	書く	読む	言語
評定に関する観点の割合	20%	20%	20%	20%	20%
評価事項	自己評価表、提出物(ノート、ワーク、二百字帳、宿題)態度、忘れ物	自己評価表、発表、暗唱、音読、聞くテスト、話すテスト、授業観察	自己評価表、詩、作文、小論文、感想文、定期試験、ノート	定期試験、授業理解(ノートワーク、授業観察)	定期試験、小テスト、漢字テスト、書写作品冬休み明けテスト

4月～6月に、子どもたちに1年間の学習の見通しを持たせるために授業で配ります。形式は教科独自のものがありません。

3 学年（前期）理科 評価・評定計画 （例）

学習単元・内容	学習のポイント
○地球と宇宙 1章 地球の運動と天体の動き 2章 太陽系の天体 追加 月の運動と見え方 1年1分野の復習	・地球の自転・公転と天体の見かけの運動の関係を理解しよう。 ・太陽や惑星の大きさや表面の様子など共通した項目で比較をして、特徴を整理しておこう。 ・模型を使って、月の見え方の模型実験と実際の見え方を比べておこう。
○生物の細胞と生殖 1章 生物と細胞 2章 生物の子孫の残し方 追加 遺伝の規則性と遺伝子 1年2分野の復習	・細胞とは何かを理解しよう。 ・植物の細胞と動物の細胞のつくりの違いに注目しよう。 ・体細胞分裂の過程が説明できるようにしよう。 ・有性生殖と無性生殖の違いを理解しておこう。 ・有性生殖と無性生殖をする生物にはどのようなものがあるか例を挙げられるようにしておこう。 ・遺伝子と形質の関係を理解しておこう。
○運動とエネルギー 1章 物体の運動 2章 運動と力 2年1分野の復習	・力そのものは目に見えないものだが、身のまわりには様々な運動がある。日常生活の中での力と運動の関係を理解しよう。 ・目的を理解し、予想をたてて実験を行おう。 ・記録テープから速さを求める計算ができるようにしておこう。

評価・評定について				
評価事項	関心意欲態度	科学的思考	観察実験	知識理解
評定に関する観点の割合	25%	25%	25%	25%
評価事項	理科ノート ファイル提出 レポート提出 夏休みの課題	定期テスト 授業での取り組み レポート	定期テスト 授業での取り組み レポート	定期テスト

備考

- ・理科ノート，プリントファイル，レポートなどの提出物の提出を忘れないようにしましょう。
- ・理科ノートは＜プリントが貼ってあるか＞＜プリントの問題がやってあるか＞＜理科ノートの問題がやってあるか＞をみます。
- ・定期テストには3年間の総まとめの問題集からも出題します。範囲は授業で知らせます。
- ・テストや提出物，授業での取り組みなどがほぼ100%であれば評定が9および10となります。また，評価・評定のための資料がほとんど得られなかった場合は2あるいは1となります。

どんな場合に通知表に 10，9 や 1，2 がつくのか知らせておくと混乱を招きません。

[illegible]